[謡本] うきふね　1冊　WA7-　010-001

国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

是ハ後國一見ま
ほ程ハ初瀬よ
ゐ
ゐ
ゐ

やすら姫程もあく猶乃渡里や
あしりや見宇治の里よも義に
くわく　あら嬉しや宇治乃
七里ふはなてひ鶯見やすらひ
此所をもなり見りや此思ひひ
紫清見ふ事乃よ法なるもなる我
ふ清我なる浮身の所　うなハ

心乃咎ひとてだのよ我ゆこ清
来るもあし　住呆ぬ寸見の君
宇治乃橋柱だちぬ若しき思ふ
紫末ゆ霧を浮身よて老行末も
しら海弓ぞと我心を歎きなわ
兎に角ふ定なる世乃うけ軽其
月日もうけよ遅くに浦乃ぐく

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-003
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[illegible]
[illegible]
[illegible]

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

（朱）詞

（朱）詞

（朱）詞

上三の弓、

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-005
国立国会図書館

中半詞

我と浮舟は語る系譜物語りん
序月
はれ物語とや永遠永くも
ぬすしてごとは心ひ詠章君
ばろひていり兼ばと紫乃
廿三
たはれられ
もあらぬ牙は
ず世きし世をやあらりられ
月
先これを世小しき面ハ人こ

あまる可見たまひ今ほたしひ
なりしぞ紅こは浮舟ハ水ほ宗
中將乃ようわ兎よばへ給ひし
必あわ　人りしもなきりし君
心さまよしあまてがほとり永
はし給ひし我掛云ぞうなよ
世の人乃ぞはめりしゆえし我

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-006
国立国会図書館

ぞ源な心ふそ是能の言なん
迅ひて見れハ世しにぞ星ぬふ
わきの明と言なる霄乃人色も
の明しまてが明るゝ見しけれ
れ是をしも明とふひ無なまし
わきな秋や星よに梅も山住乃
めけるのなわしも猿乃心に

志乃そ春明の月寸見乃ほる程
なれは 上 ゝ乃れもそ成曇なく
舩きし望めし明志とそ汀乃水
路ふて見ハ建りけとあまし成
洗りゝぬ清楽なわびと来ゝそ
長閑ふそとはぬ程ふ海思さん
晴ぬなり色とあましも渡の

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-009
国立国会図書館

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-010
国立国会図書館

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-011
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] うきふね 1冊 WA7- 010-012

国立国会図書館

[謡本] うきふね　1冊　WA7-　010-013

国立国会図書館